

# 近江の石工

令和7年2月発行  
発行  
滋賀県石材組合連合会  
広報委員会

## 会長挨拶

滋賀県石材組合連合会会長 岡島 義孝



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は当連合会に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、年始早々から能登半島地震が発生し甚大な被害となりました。9月には豪雨被害が発生するなど今もなお厳しい状況が続いています。被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

昨年度は、計画した事業全てを実施することができました。研修事業として昨年11月に琵琶湖博物館に収蔵してある明治から昭和初期にかけて活躍した近江小松の石工「西村嘉兵衛」の石工道具を見学いたしました。多くの道具が揃えられており貴重な研修となりました。近くに有りながらなかなか訪れることができない施設ですので、一般展示につきましても加藤学芸員にご案内いただき良い機会になったと思います。また、無縁塚の運営につきましては例年通りの清掃・法要・佛石受け入れに加え、基壇増設工事を2日間に渡り実施し、新たな基壇が増えました。近年持ち込み佛石は減少傾向ではありますが、今後も引き続き無縁佛石を受け入れてまいります。技能検定は受験者が無く実施していませんが、今後も次世代の育成のため、少ない受験者であっても実施したいと考えます。

さて、当連合会は来年おかげさまで設立50周年、青年部は45周年を迎えることになります。昨年50周年事業実行委員会を発足し、兼子裕司副会長が実行委員長に就任いたしました。令和8年2月に50周年記念式典を開催する予定です。式典では関係者が集い、有意義に楽しんでもいただける様に準備していきたいと考えています。また、記念事業も計画しており、地元で親しんでもいただける様な事業にしたいと思います。

今年度は50周年事業を実施し、記念式典の準備の年となります。会員一同、知恵を出し合い工夫しながら進めてまいります。そしてともに事業を行う青年部の皆さんの若い世代の発想と行動力に期待しています。会員だけでなく多くの方にとって有益な事業となります様、石材業界の皆様方にはこれまで同様ご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様にとって本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

# 研修事業

研修委員長 徳田 美喜男

11月15日、琵琶湖博物館へ15名参加のもと研修事業を行いました。江戸時代後期～昭和40年ぐらいまでの我々の先輩である石屋がどのような工具を使い、どのようにして石を切り出し、どのように石を加工して来たのかと言う事を琵琶湖博物館学芸員 加藤秀雄様の案内説明のもと研修をしました。琵琶湖博物館は一般の人が入れるスペース以外に地下に収蔵庫があり、そこに様々な職種の今では使



われていない道具類を寄贈してもらい集めておられました。石屋の工具道具についても我々が子供

の頃に見た物なども多数収蔵されていました。又、初代から3代までの嘉兵衛灯笼を制作していた西村家からも、廃業される時に道具類を譲ってもらわれ展示されていました。我々としても先人の仕事の様子や苦労を考えるいい機会になったと思います。





# 無縁塚清掃及び法要

福利厚生委員長 小山 秀人

9月26日(木)に、毎年の事業となります無縁塚の清掃作業と法要を(有)平出石材工業様丁場跡において行いました。

まだまだ残暑厳しい中、当日は15名の参加をいただきありがとうございました。猛暑の影響か、例年よりかなり周囲の雑草が伸びており前もって業者さんに草刈を依頼したこともあって清掃だけでなく、基壇の整理など各自分担して効率よく作業を終えることが出来ました。

清掃終了後、宝篋印塔前において、無縁仏法要が執り行われ、参加者一人一人が手を合わせ、法

要を終えることが出来ました。年々増えていく「墓じまい」に対して石材店として取り組み・供養の在り方を大切にしていかなければなりません。

この大切な事業の継続のため、今後とも、会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。





# 青年部活動報告

青年部部长 野崎 進伍

令和6年度の滋賀県石材組合連合会青年部の活動を報告させていただきます。

まずは役員改正を執り行う第44回総会を行いました。今年度は今まで青年部活動に尽力された3名の卒業生が居られ青年部総数9名となりました。少数ながらも色々な意見をいただき、委員会もこれまで同様の会員の資質向上を主とする技能向上委員会、会員間の交流を主とした交流親睦委員会、近年持ち越しになっていた卒業旅行などを企画する研修旅行委員会を据え置き、中身としては十分な総会を執り行うことが出来ました。

委員会の開催は3回行いました。3つの委員会がありますが、全員が全力で行うのがこの滋賀県石材組合のいい所でもありますので全部員が対象として開催しております。通年行っている無縁塚整備作業も12月、そして年明けの2回実施しました。

その他としては近畿地区の交流会の代表者会議



では9月に今回の担当である大阪で会議がありました。交流会は1月に開催され京都、大阪との交流に大いに繋げることが出来ました。また親会である滋賀県石材組合連合会の50周年の節目もあり実行委員会が立ち上げられ青年部としても創設45周年の年にあたるので微力ながらも組織に組み込んでいただきました。青年部としては親会との繋がりが部員増強への一番の頼りとなりますので、精一杯50周年に向けて活動出来ればと考えています。

以上青年部の活動報告とさせていただきます。

